

2010/10/25

配付（敬称略）：勝本創生推進委員会委員長、安枝委員会アドバイザー
まちづくり推進課（中澤、三宅、小杉）、深川まちづくりアドバイザー
環境部会委員（芦田、岩倉、高木、久世、高橋、外村、平井、福富、藤原、森田、山本）
（写し）鈴木部会連絡協議会議長、香水小畑川コミュニティ事業リーダー
村下楽祭 in らくさい広報チームリーダー

環境部会 岩倉 紘一

第 32 回 環境部会 議事録

日時：10月17日（日） 10時～11時20分

場所：竹の里会館 しゃくやくの間

出席：高木、高橋、外村、平井、藤原、森田、山本、福富、久世、岩倉 計10名

（議題と諸連絡）

○「ごみゼロ」→ 京都市「まちの美化推進住民協定」について：

○まち美化推進課より「洛西NT全域で取り組む」ことに関して、前向きの回答がようやく出たので、具体的な活動内容などの検討。

- ・ 申請者は、「創生推進委員会委員長」に各4学区の連合自治会の連名が必要だと思う。
「創生推進委員会」という組織そのものが住民を代表している・・・と、広く認識されているのか？その意味でも併記しておくべきだ。
- ・ NTの住民の中には、自治会組織に加入していない世帯もかなり多い。（その意味で創生推進委員会が率先して全ての住民に声をかける組織であることに大きな意義がある。）
- ・ 「啓蒙」より先ずクリーン活動の実践をすることが先ではないか？
（この議論は、ごみゼロを目指して環境部会が活動目標として既に検討した。先ずはマナーの向上徹底を図るべきであるし、行政の出前講座「美化推進協定」を受け、活用するのが最適との判断）
- ・ マナーの向上の呼びかけは絶対必要だ。むしろこれを進めることによって、ボランティアの方々による日頃の大変な努力が軽減されることもアピールすべき。
自治会、学校などの団体などにも協力をお願いしたい。
（学校教育でも、家庭内でも取り上げて頂き、洛西NTの環境・美化を自ら率先して取り組み、美しいまちを次世代に継承していきたい。現実には、不法投棄など目に余る。京都市が進めている市民憲章推進テーマにも合致する。） ★東大阪市など「迷惑行為過料条例案」検討自治体増加中！
- ・ 横断幕設置や、看板作成などは必要だと思う。 → さらに次回以降検討が必要。

○新しいPJや、楽祭 in らくさいについての情報交換。

○次回 第33回環境部会：11月21日（日）10時～11時30分 竹の里会館 和室にて
（議題予定：「ごみゼロ」美化推進住民協定に関する内容・・・検討を重ねる。ご意見をご用意下さい）

以上